

農作業安全について

研修部

- 1 農作業事故に対する危機管理意識 (リスクマネジメント)
 - ・ 事故は起こるべくして起こっている → 予防策、指導・啓発方法、再発防止策
- 2 機械は使ったら元どおりに戻す。大事に扱うのが基本
 - ・ 4 S (整理・整頓・清掃・清潔) + 親切 + 躰 (6 S) の励行
- 3 「農業は危険な産業である」という認識
 - ・ なぜ事故が多いのか、減らないのか 例：HONDAのGDT活動
- 4 世の中に安全な機械というものは存在しない (リスクを避ける能力を身に付ける)
 - ・ 安全鑑定証票 → 「一定の安全基準を満たしている機械」だが…
 - ・ 事故の大きさは機械の大きさとは関係ない
- 5 事故の8割はヒューマンエラー (人的ミス) が原因
 - ・ 不安全行動 は作業手順を省略した“手抜き”など誤った動作が最多
→ ①知識不足、②4 Sの欠如、③意欲の欠如、④過労、⑤身体的適応力不足、
⑥悩みごと、⑦誤った判断、⑧確認の不備、⑨指示の不明確、⑩朝食抜き
- 6 危険予知訓練 (K Y T) が安全確保の最善策 (ハインリッヒの法則)
 - ・ 300 件のヒヤリハット体験に対して、29 件の傷害事故、1 件の死亡事故が起きる
- 7 機械作業の基本中の基本
 - ・ 正しい服装・正しい姿勢 が農作業での鉄則
使い次第で作業の重度・事故の発生確率が高くなる
- 8 事故は 10 時と 15 時頃がピーク → 一服して局面を変える
 - ・ 疲れや異常を感じたら…「止める勇気」を惜しまずに
リラックス → 緊張への適度な切り替え メリハリをつけた作業計画が重要
- 11 参加者からのヒヤリハット体験事例、意見・要望など (意見交換など)

- ・ 従来の間違った使用方法を踏襲させない（悪例を断ち切る）

農業機械の安全研修を女性対象で行うことについて

農作業事故・安全について考える時間を3時間ほどいただく

今回の乗用トラクタや刈払機などは教材の一つ 機械の取扱いについて
時間の都合で、簡単な操作・手入れなど、大したことはできないかもしれないが、
教材が何でも考え方は一緒 今回はきっかけ作り 今後につなげたい
受け身の研修でなく、こちらも試行錯誤しながらやる 意見交換しながら進める